

中国留学

2018年8月27日～2019年1月7日

◇◆留学参加メンバー◆◇

金田渚沙(団長)

三河唯人(副団長)

岡畑亮太

新保拓人

多賀駿人

田中奏恵

玉木真輝

遠間あかり

箱田果秀

深口大輔

丸山沙弥

山田瑞希

横澤咲季





◇◆目次◆◇

1. 留学費用
2. 留学先の概要
3. 留学日程
4. 授業について
5. 大学生活紹介
6. イベント紹介
7. おわりに

1. 留学費用

現地での生活費:20 万円～30 万円

20 万円あれば十分に生活することができる。25 万円以上あれば、服を買ったり旅行に行ったり、外食の頻度を多くしたりと、裕福に暮らすことができる。

2. 留学先の概要

(1)大学について

北京師範大学は創立 100 年を超える歴史を持ち、新中国建国後に国家によって設立された最初の教育大学である。北京大学、清華大学、中国人民大学とともに北京四大大学と称されている。現在約 22000 人以上の学生が在学していて教師や教育学の分野で活躍する人材を多く輩出している。様々な学部がある中で特に、教育学・心理学・中国史・地理市・生態学の五科は全国トップレベルとなっている。



(2) 大学で行われている教育について

積極的に国際交流を行っている北京師範大学では、日本を含め海外の大学50校余りと交換留学プログラムで提携している。留学生の受け入れが多くあるため、中国人学生以外にも多くの国の学生と交流を体験することができる。中国語の授業では言語・文化・習慣などの面から総合的に学習する。在籍する教師は約 1700 名で、そのうち 12%の教師が海外で学位を取得している。留学生は学期初めにあるクラス編成テストに参加し、自分の中国語レベルに適したクラスで授業を受けることができる。

3. 留学日程

月	日	午前	午後
8	27 日	日本を出発	北京に到着・入寮
	28 日	銀行口座開設、携帯購入	
	29 日		入学手続き
	30 日		クラス分けテスト
	31 日	入学式	
9	3 日	授業開始	
	8 日		日中交流会
	22 日 ～24 日	内モンゴル旅行	
10	1 日 ～7 日	国慶節	
	13 日	万里の長城ツアー	
	31 日	口頭試験	
11	1 日 ～2 日	中間テスト	
	10 日	HSK試験	

	12日 ～18日	研修旅行	
	25日		日韓交流会
12	18日		新潟県人会
	26日	口頭試験	
	27日 ～28日	期末試験	
1	4日		卒業式
	7日	帰国	

4. 授業について

授業の時間割(一例)

	月	火	水	木	金
1限	会話				会話
2限	聴力	会話	聴力		聴力
3限		读写	读写	读写	
4限		汉语辅导			书法
5限					

●授業内容

<会話>

教科書本文と新出単語を先生が用例を用いながら、文法なども解説してくれる。単語テストもある。また週末の宿題として、お題が出されそのお題に沿って各自パワーポイントを作成し、週末明けに発表する。

<聴力>

ほかの授業よりもCDを頻繁に使用し、リスニング力を養う。初めに教科書を閉じたまま本文のCDが聞かされ、自分が聞き取れた単語を確認する。その後新出単語が説明され、本文の内容を踏まえたうえで先生からされる質問を聞き取って答える、ということを繰り返す。本文の内容がひと通り終わったら、練習問題をする。

<读写>

練習問題を多く解き、文法を確実に理解し語彙力を高める。本文のピンインを見ずに音読したり、新出単語や文法事項が説明される。単語の説明中にその単語を使って短文を発表する。単語テストもある。宿題として、300字以上の作文を書いて提出するというのもたびたびあった。

<汉语辅导>

授業でわからないところなどを先生に質問できる。

<书法>

週に一度文化体験の授業として書道の授業があった。中国発祥の漢字の書き方やその歴史を、書道を用いて学ぶ。書道セットをもらって簡単な漢字を練習する。授業の最終回ではひとりひとつ作品を書き、提出した。

授業の様子



5. 大学生生活紹介

● 学生寮

2人1部屋、シャワー、トイレ、机、いす、ベッド、ソファー、冷暖房、テレビ、冷蔵庫、ポットが備え付けされている。また共用のキッチン、洗濯機のほか、深夜0時まで営業している売店もあり、不自由なく生活できる。毎日寮の管理人さんが部屋のごみ箱を回収してくれる。私たちが住んでいた新松公寓は教室棟から徒歩3分と、教室に近くとても近く便利であった。



● 食堂

学内にはいくつもの食堂があり、お持ち帰り専用のごはん屋さんもあり、食事に困ることはなかった。学内の食堂は学生カードにお金をチャージして、注文するときは学生カードを使って支払いをする。食堂のごはんは安くておいしいものばかりで、食事が楽しみであった。



● 電子マネー

現在中国の多くの場所で電子マネーが取り入れられていて、現金を使う機会は少なかった。電子マネーを利用するためには、中国に銀行口座を作り、スマートフォンとつなげる必要がある。電子マネーを利用したことにより、便利なが多くあった。友達との割り勘も送金システムを使えば簡単に行え、財布を持たなくてもよくなった。また、口座とスマートフォンをつなげたことにより、ネットショッピングをすることができた。ネットで買うことによって、店舗に行って買うよりも安く手に入るため、とてもおすすめである。

● 電圧

電圧は日本よりも高い220V(日本は100V)だが、パソコンやスマートフォンは変圧器

を使わなくても利用することができる。しかしドライヤーやヘアアイロンは変圧器か海外対応のものを持って行って使わなくてはいけない。しかしそれらをスーツケースに入れて持って行くのはかさばるので、こだわりがなければ中国に着いてから買うことをお勧めする。学内にも学外のショッピングモールにも安く売っている。

6. イベント紹介

●内モンゴル旅行

日本語ガイド付きの2泊3日内モンゴルツアーに参加した。内モンゴルまでは北京からバスで10時間以上かかった。9月の下旬ではあったが、北京よりも北に位置するためとても寒く、コートが必要であった。希望制で、希望者は1100元払って参加した。

乗馬体験や砂漠に行ってラクダに乗ったり、博物館を見に行った。内モンゴルでは羊肉がよく食べられていて、旅行中の料理に多く出てきた。とても良い経験になり、行ってよかった。

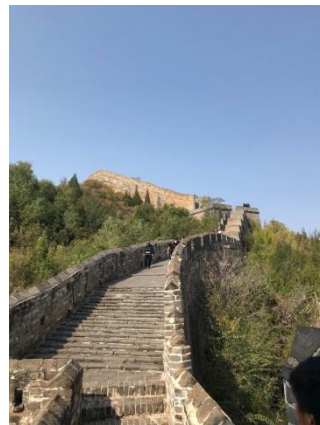




●万里の長城ツアー

北京師範大学が留学生に向けて、無料で提供したツアー(往復バス付き)。大学からはバスで1時間ほどかかる。

初めての万里の長城は、急な坂や長く続く岩の道でとても疲れたが、改めて中国という国の国土の大きさや歴史の偉大さを実感した。



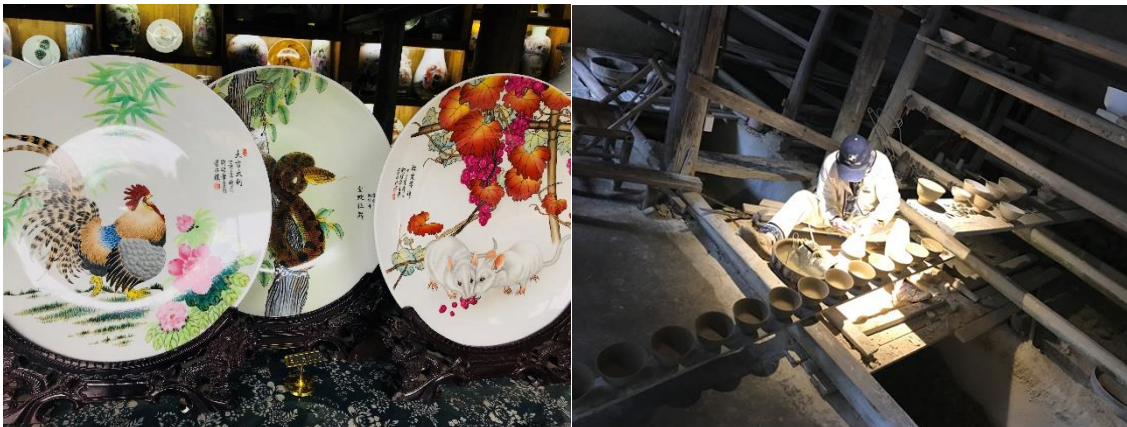
●江西研修旅行

11月12日から11月17日まで江西というところに研修旅行に参加した。江西は中国の南部に位置しているため温暖な気候で、さまざまな地方を訪れることができた。その中で訪れた観光場所をいくつか紹介する。

景德鎮

景德鎮にある三宝国際陶芸村を訪れた。この場所は名前の通りさまざまな陶器を見ることができる場所である。周りの至る所にあるものが陶器で作られている場所だった。つぼ型やお皿型の陶器など種類は様々である。それらの陶器を作っている過程を見学することができる。

さらに景德鎮陶器大学という場所では陶器制作を体験することができた。他にも陶器に絵を描く体験なども行うことができる。



三清山

三清山は世界遺産に登録されている山である。三清山の標高は 1817mをあるため、ロープウェイで約 1500mまで上っていく。ロープウェイは 2 種類あり、帰るときに間違わないように注意が必要である。三清山の登山道は、最初はほとんど平坦な山道を歩いていだけだが、終盤あたりになると急な坂道があり、そこを登ると頂上に着くことができる。たとえ登頂した時に天候が悪かったとしても、雲の上にいる幻想的な風景を見ることができる。登山の道中で不思議な形をした岩があるので探してみるとよい。



7. おわりに

留学中は自分の学びたいことを学べる環境があり、一緒に学ぶ仲間がいて、とても意味のある時間だった。クラス内では各国の留学生と交流し、休みの日は日中交流会で仲良くなった中国人と遊びに行き、普段の生活面では北京師範大学本科生の先輩方と話をしたりと、特に人との交流が広がった。今回派遣留学に参加した本学の学生の中には、人生で一番充実していた時間だったと語る人がいるほど、とても有意義な時間を過ごすことができた。

中国語も日本で学ぶよりも、たった4ヶ月留学しただけで確実に上達する。初めは聞き取れなくても、毎日授業を受けて勉強していれば少しずつ分かるようになる。また異文化理解の面でも、日頃の生活を通じて学ぶことができた。

これから中国留学を考えている学生の中には、中国に対して不安な気持ちがある人もいだろう。しかし、その不安な気持ちを押し切って一歩外に出てみると、坐楽だけでは学ぶことのできない、さまざまな中国の姿を見ることができる。派遣留学に参加することは自分自身の成長に繋がるだろう。